

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 8 年 4 月 1 日

事業所名：心身障がい福祉センター分園すてっぷ大池通り

保護者等数（児童数）

7 0

回収数

6 8

割合 9 7 %

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|---|---|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか | 66 | 2 | 0 | 0 | ・十分に確保いただいております。 ・もう少し広い方がたくさん遊べるかなと思うことがあります。 | 発達の特徴等をふまえ、基準を満たしている広さとなっております。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか | 67 | 1 | 0 | 0 | ・しっかり見守っていただいております。 | 十分な職員を配置することで、より一人ひとりを大事にしながら療育を行っております。 |
| | 3-1 | 生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注 i】になっていると思いますか。 | 67 | 0 | 0 | 1 | ・パーティション等ありがとうございます。 | パーティション等で空間を区切り、「どこで何をするか」を視覚的に分かりやすく分けることで、お子様が落ち着いて活動に集中できる環境を整えています。 |
| | 3-2 | 障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 66 | 2 | 0 | 0 | ・コドモン等で助かります。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | ・楽しく通わせていただいております。 ・いつ来てもキレイです。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 6 | 園が公表している「年間カリキュラム」【注 ii】は、園の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | ・日々成長を感じています。 ・相談するととても丁寧に答えてくださり、勉強になります。 | |
| | 7 | お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注 iii】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。 | 67 | 0 | 0 | 1 | ・具体的にいただいております。 | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注 iv】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | ・問題なくいただいております。 | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | ・問題なしです。 | |
| 10 | 園の「活動プログラム」【注 v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | ・柔軟に対応していただいております。 ・まだ 1 度しか参加していないので、今後のカリキュラムが楽しみです。 | ありがとうございます。これからも楽しい療育「自分でできた」と感じるプログラムを目指していきます。 | |

| | | | | | | | |
|----|---|----|----|---|---|---|---|
| 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。 | 61 | 2 | 1 | 4 | ・毎日です。 | 事業所が計画して交流する機会はありません。幼稚園や保育園と事業所の並行通園であるためお子さん達は交流の機会があります。 |
| 12 | 契約時に、運営規程、年間カリキュラム、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | | |
| 13 | 「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 67 | 0 | 0 | 0 | | |
| 14 | 園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 65 | 1 | 0 | 2 | ・伝授していただきました。 ・振り返り時に、子供への声掛けなどのアドバイスを頂けて、参考になっています。 | 今後も、お子さまを理解をする為の学びや情報提供、先輩保護者の話など多岐にわたる支援を続けていきます。 |
| 15 | 日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | ・送迎の際、いつも細かく子どもの事を聞いて下さったり、こうした方がいいかもと教えて下さります。 ・面談だけでなく、日々の送り迎えの時でも親が知らない子どもの姿を教えてもらっています。 ・いつもよく見てくださっていて助かります。 | ありがとうございます。保護者様が安心できるようにお伝えしていきます。 |
| 16 | 定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | ・悩んでいることをいつも相談しやすく、アドバイスしてもらえます。 ・連絡帳に日々励まされています。 ・悩んだ時に相談にのってもらい助かっています。ありがとうございます。 | ありがとうございます。引きつづき気軽にご相談できる環境、雰囲気づくりに取り組んでいきます。 |
| 17 | 園の職員から、共感的に支援がされていると思いますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | ・対応が分からないことでも、先生に相談することでアドバイスをもらえて助かっています。 ・保護者にも温かいお声掛けを頂いて、とてもありがたいです。 | お子さまの成長を共に喜びあう事業所でありたいと思います。 |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 52 | 10 | 0 | 6 | ・きょうだい向けかはわかりませんが、ナイトアクアリウムの案内など、とても良かったです。 | これからも引きつづき情報提供していきます。 |
| 19 | お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 64 | 2 | 0 | 2 | | |

| | | | | | | | | |
|--------|----|---|----|---|---|---|--|--|
| | 20 | お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 21 | 定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。 | 64 | 2 | 0 | 1 | ・アプリでのお知らせが便利です。 | 導入して良かったです。活用していきます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。 | 67 | 0 | 0 | 1 | | 個人情報取り扱いマニュアルに沿って取り扱いを行っています。 |
| 非常時の対応 | 23 | 園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 67 | 1 | 0 | 0 | | 感染症については、新型コロナウイルスについて注意していただくこと、感染した場合の報告等について文書を配布しました。又、消防計画、避難経路を玄関に掲示し、わかるようにしています。 |
| | 24 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | | 避難訓練を定期的に行っています。単独通園は玄関で避難車に乗る練習、親子通園は非常口で避難の仕方を確認しました。 |
| | 25 | お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 68 | 0 | 0 | 0 | ・訓練でも、子どもに怖さを与えないように工夫されていると思います。 | 単独通園はクラス懇談時、親子通園は避難訓練時に説明しています。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。 | 61 | 2 | 0 | 5 | ・同日、夕方にも状況聞き取りのお電話をもらっているので、とても配慮してくださっています。 ・事故やケガをいつも未然に防いでいただいでいて、どちらも未経験のため。 ・怪我や事故は1度もないです。とても安全にしてもらっています。 ・今のところ事故等がなく、安心して預けています。 | 些細な事故であっても事故等が発生した状況等を送迎時、もしくは電話にて当日中に伝えております。場合にに応じて容態の確認を数日後に電話にて行っております。 |

| | | | | | | | | | |
|-----|----|-------------------------|--------|------------|------------|-------|-------|---|---|
| 満足度 | 27 | お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。 | はい | やや楽しみにしている | どちらともいえません | いいえ | わからない | <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日にあるので、休み明けはすてっぶ！と楽しみにしています。 ・「次はいつすてっぶ？」と毎週楽しみにしています。 ・たまにイヤと言う時があったりしますが、基本的にはイヤがらずに行きます。 ・子どもがとても楽しみに通っていて、成長もできてありがたいです。 ・一度も行き渋りなく、楽しく通っています。 ・いつも楽しみにしています。 ・初めての通園が楽しかったようで、すてっぶに行く話しをすると嬉しいそうにしています。 | ご意見とてもありがたく思います。今後も安心して通園できる環境を設定して楽しい遊びを通して情緒の安定を図り、発達支援に努めます。 |
| | 28 | お子さんは安心感をもって通所されていますか。 | はい | やや安心している | どちらともいえません | いいえ | わからない | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく通っています。 ・先生やお友だちが大好きです。 ・子供はもちろん親も安心して送り出せています。 ・安心感を持っています。ありがとうございます。 ・安心感を持ちすぎて家かのような行動をとってすみません。 ・変にネコかぶりもなく、普段とあまり変わらない感じで通所できています。 | 安心感の中で、たくさん経験ができるよう、心掛けています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか | 満足している | やや満足している | どちらともいえません | 不満である | わからない | <ul style="list-style-type: none"> ・親子共々、沢山支援して下さって、本当に感謝しかありません。ありがとうございます。 ・子供の成長を見るたび、感じるたび、感謝しかありません。本当にありがとうございます。 ・週1の通園で子供の特徴を理解して下さい、合わせた対応して下さいありがたいです。 ・先生方がとても優しく、協力的で親子が安心して楽しく通えます。親子共々、成長できて感謝しています。 | 引き続き保護者が安心して子育てができるように子どものことを考え合い、安心して相談できる場所でありたいと思います。 |

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたらいいかをわかりやすくする工夫です。
- ii 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- iii 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。
- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。
本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。
家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。
移行支援とは、あなたのお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすれば良いか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。

.....